

CC121

ADVANCED INTEGRATION CONTROLLER



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

⚠ 警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-3C またはヤマハ推奨の同等品) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

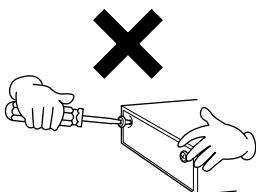
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。
また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常ににおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

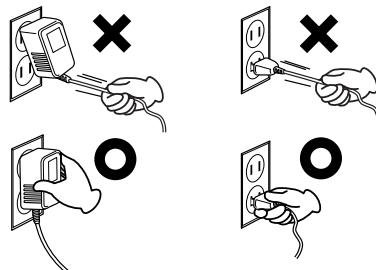
⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。





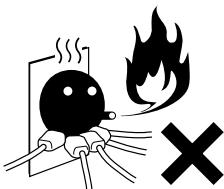
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



設置



禁止

直射日光のある場所（日中の車内など）やストップの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。



本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お知らせ

- ・ このオペレーションガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社（以下「ヤマハ」）が所有します。
- ・ このオペレーションガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Steinberg および Cubase は、Steinberg Media Technologies 社（以下「Steinberg」）の登録商標です。
- ・ この製品は、Steinberg およびヤマハ が著作権を有する著作物や Steinberg およびヤマハが第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや音楽データなどのコンテンツを含みます。Steinberg およびヤマハの許諾を受けることなく、個人的な使用的範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
- ・ Steinberg、ヤマハおよび第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac および Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、アドバンスドインテグレーションコントローラー CC121 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CC121 は、Cubase を使った音楽制作に最適なコントローラーです。USB ケーブルを使ってコンピューターに接続するだけで、すぐに Cubase との快適な音楽制作環境を構築できます。

CC121 の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、このオペレーションマニュアルをご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

Cubase 専用コントローラー

CC121 は、CC121 との連携機能に対応した Cubase(15 ページ) の専用コントローラーです。Cubase に最適化された連携機能を多数搭載しており、USB ケーブルを使ってコンピューターに接続するだけで、ワークフローに沿った効率のよい音楽制作が行なえます。

AI KNOBによるストレスのないパラメーターコントロール

CC121 に搭載された AI KNOB は、Cubase 上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターをコントロールできます。また、パラメーターにマウスポインターをあてた状態で [LOCK] ボタンをオンになると、マウスポインターの位置に関係なく特定のパラメーターだけをコントロールできます。このような操作により、ストレスのないスムーズなパラメーターコントロールを可能にします。

VST オーディオチャンネル設定およびトランスポートの直感的な操作

Cubase の VST オーディオチャンネル設定画面およびトランスポート部を CC121 からダイレクトにコントロールできます。また、タッチセンス付きのモーターフェーダーを使ったオートメーションの作成や、EQ のコントロールまでを直感的に操作できます。各ボタンは、Cubase 上の該当ボタンと同様の配色で光るようになっており、各機能の状態をすぐに確認できます。

アサイナブルな FUNCTION ボタンを搭載

CC121 に搭載された FUNCTION [1] ~ [4] ボタンは、Cubase のさまざまなパラメーターを自由に割り当てて使用できるアサイナブルコントローラーです。さらに、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase を使えば、コントロールルームミキサーを操作する 2 種類のテンプレートを利用できます。

USB バスパワー動作

コンピューターの USB 端子から CC121 へ電源を供給する USB バスパワーに対応しています。コンピューターと CC121 を USB ケーブル 1 本で接続するだけで、CC121 に電源を供給できます。また付属の AC アダプターを使用すると、モーターフェーダー（タッチセンス付き）が使用可能になります。

目次

はじめに	6	フェーダーのタッチセンス感度を調整する	23
特長	6	トラブルシューティング	24
パッケージの内容	7	仕様	24
付属のディスクについて	7	ユーザーサポートサービスについて	25
電源の準備	8		
ソフトウェアのインストール	10		
セットアップ	14		
各部の名称と機能	15		

パッケージの内容

CC121 のパッケージには、次のものが同梱されています。箱を空けたらまず同梱品を確認してください。

- ・ CC121 本体
- ・ 電源アダプター (PA-3C またはヤマハ推奨の同等品)
- ・ CC121 オペレーションマニュアル (本書)
- ・ 保証書
- ・ USB ケーブル
- ・ TOOLS for CC121 CD-ROM
- ・ Cubase AI DVD-ROM

付属のディスクについて

ディスクの内容

付属ディスク (TOOLS for CC121 CD-ROM、Cubase AI DVD-ROM) には、以下のソフトウェアが収録されています。

TOOLS for CC121 CD-ROM

- ・ TOOLS for CC121 インストーラー
このインストーラーにより、USB-MIDI ドライバー、Steinberg CC121 Extension がインストールされます。

Cubase AI DVD-ROM

- ・ Cubase AI

ディスク使用上のご注意

- ・ お客様がこのディスク / ソフトウェアの複製を試みた結果生じた損害については、Steinberg 社およびヤマハ株式会社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 同梱されているソフトウェアのディスクは、オーディオ / 映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。
- ・ TOOLS for CC121 CD-ROM に収録されている USB-MIDI ドライバー、Steinberg CC121 Extension の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ Cubase AI DVD-ROM の著作権は、Steinberg Media Technologies 社が所有します。
- ・ ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 付属ディスクに収録されているソフトウェアの最新情報は、下記 URL をご参照ください。バージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、Web での対応とさせていただきます。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j

電源の準備

電源の準備

CC121 を起動させるには、USB バスパワーによる電源供給が必要になります。また、本体に搭載されているモーターフェーダーを駆動させるには、付属の電源アダプターによる電源供給が必要になります。ここではすべての動作が可能になるように、USB バスパワーと電源アダプター両方の準備について説明します。

重要

電源アダプターだけを CC121 に接続しても、電源をオンにできません。電源アダプターは、モーターフェーダー駆動用の補助電源です。

- 1 CC121 のリアパネルにある [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。**
- 2 コンピューターと CC121 の USB TO HOST 端子を USB ケーブルで接続します。**
これで、本体の電源をオンにする準備ができました。モーターフェーダーを駆動させたい場合は、このまま手順 3 以降を行なってください。

⚠ 注意

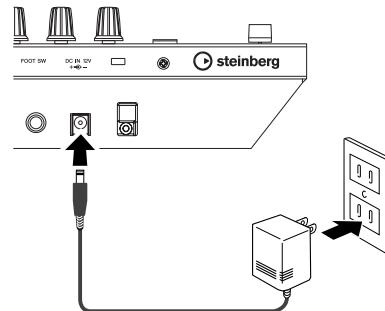
- Mac をご使用で CC121 の電源を入れたままにした場合、操作しない状態が長く続いても、コンピューターは省電力モード（スリープ、サスPENDなど）に入れません。この場合、コンピューターから通常使用時の電源が供給され続けるので、コンピューターをバッテリーで動かしている場合はバッテリーの電力が通常使用時と同様に消費されます。コンピューターの消費電力を節約するためにも、長時間使用しない場合は CC121 の電源をオフにしてください。

NOTE

- USB バスパワー機能は、コンピューターとの直結またはセルフパワー方式の USB ハブを使用した場合にのみ利用できます。バスパワー方式の USB ハブ使用時には利用できません。

- 3 電源アダプターのプラグをリアパネルの DC IN 端子に差し込みます。**

- 4 アダプターの電源プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにしっかりと差し込みます。**



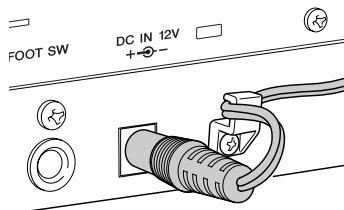
⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず付属の電源アダプター (PA-3C) またはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。ほかの電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このようなときは、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分にご注意ください。

⚠ 注意

- CC121 をご使用の場合は、電源アダプターのコードをフックにはめてから DC IN 端子に接続してください。誤ってコードを引っ掛けた場合にプラグが抜けにくくなります。ただし、コード表面の磨耗やフックの破損につながりますので、コードをフックにセットした状態でコードを強く締め込んだり、コードを引っ張ったりすることはおやめください。

リアパネル



NOTE

- 電源アダプターの本体への接続および接続の解除は、本体の電源をオンにしてから行なっても問題ありません。

電源のオン / オフ

- 1** 電源をオンにするには、[STANDBY/ON]スイッチを押して ON(■)にします。
- 2** 電源をオフにするには、[STANDBY/ON]スイッチを押して STANDBY(▲)に戻します。

⚠ 注意

- ・ [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから外し、USB ケーブルも CC121 から外してください。
- ・ 本体と接続しているコンピューターの電源を切った場合、本体の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (オフ) にしてください。

USB TO HOST 端子ご使用時の注意

USB TO HOST 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止（ハングアップ）して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。

コンピューター や本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。

⚠ 注意

- ・ USB ケーブルは、AB タイプのものをご使用ください。また、1.5 メートル以下のケーブルをご使用ください。
- ・ USB TO HOST 端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力（サスペンド／スリープ／スタンバイ／休止）モードを解除してください。
- ・ 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST 端子とコンピューターを接続してください。
- ・ 本体の電源オン／オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- ・ 本体の電源オン／オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行なってください。

ソフトウェアのインストール

CC121 をコンピューターと接続して使用するためには、ソフトウェアのインストールを行なう必要があります。ここではソフトウェアのインストール手順について説明します。まず Cubase AI をインストールし、その後 TOOLS for CC121 をインストールしてください。

NOTE

- すでに CC121 との連携機能に対応した Cubase(15 ページ)をインストールされている場合は、「Cubase AI のインストール」は不要です。「TOOLS for CC121 のインストール」から作業を行なってください。

Cubase AI のインストール

NOTE

- このソフトウェアは、インストールの途中で表示される「Steinberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約 (EULA)」にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。
- Cubase AI を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase AI を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。

- 1** コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2** Cubase AI DVD-ROM をDVD-ROM ドライブに挿入します。
- 3** 「WELCOME TO CUBASE AI」画面が表示されますので、国旗アイコンをクリックして使用する言語を選択します。

NOTE

- この画面が自動で表示されない場合は、DVD-ROM を開き、「Start Center」をダブルクリックしてください。

- 4** 表示される画面の指示にしたがってインストールします。

TOOLS for CC121 のインストール

TOOLS for CC121 は、「USB-MIDI ドライバー」、「Steinberg CC121 Extension」の 2 つのソフトウェアで構成されています。USB-MIDI ドライバーは、CC121 とコンピューターの通信を可能にするために必要なソフトウェアです。また Steinberg CC121 Extension は、CC121 と Cubase との連携機能を実現させるために必要なソフトウェアです。TOOLS for CC121 インストーラーにより、これら 2 つのソフトウェアがインストールされます。

NOTE

- このソフトウェアは、インストールの途中で表示される「使用許諾契約」にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

■ Windows XP の場合

インストール前の準備

- 1** CC121 の [STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。
- 2** コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外し、CC121 をコンピューターの USB 端子にハブを使わずに直接つなぎます。
- 3** コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 4** [スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] で、画面左上の「クラシック表示に切り替える」を選択

して、すべてのコントロールパネルとアイコンを表示します。

- 5** [システム] → [ハードウェア] → [ドライバの署名] → [ドライバ署名オプション] で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」を選択して、[OK] をクリックします。

NOTE

- インストールが終了したら、ここで設定を元に戻してください。

- 6** [OK] や画面右上の [x] をクリックして、システムのプロパティ画面とコントロールパネル画面を閉じます。

- 7** TOOLS for CC121 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

インストール

インストーラーを起動し、以下の 2 つのソフトウェアをインストールします。

- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Steinberg CC121 Extension

NOTE

- ・ インストールの中止には、必ずキャンセルボタンやクローズボタンを使用してください。[Ctrl]+[Alt]+[Delete] を使用して中止したり、インストールの途中で電源をオフにしたりすると、アンインストールが正常にできなくなる原因となります。

8 CD-ROM 内の「setup.exe」をダブルクリックします。

「TOOLS for CC121 セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

9 [次へ] をクリックします。

10 USB-MIDI ドライバー、Steinberg CC121 Extension の順にセットアップ画面が表示されるので、画面の指示に従って各ソフトウェアをインストールします。

NOTE

- ・ インストールされる Steinberg CC121 Extension と同じバージョンまたは新しいバージョンのソフトウェアが、すでにお使いのコンピューターにインストールされている場合は、Steinberg CC121 Extension のインストールに関する画面は表示されません。
- ・ インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示された場合は、「続行」をクリックします。インストールを中止する必要はありません。メッセージが表示されない場合はそのまま次の手順に進みます。インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。

11 TOOLS for CC121 のインストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。

コンピューターの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージも表示されます。その場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の左側のラジオボタンにチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリックしてコンピューターを再起動します。

再起動を促すメッセージが表示されていない場合は、「完了」をクリックします。

12 [STANDBY/ON] スイッチを押して、CC121 の電源をオンにします。

CC121 がコンピューターに認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」という画面が表示されます。

NOTE

- ・ この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- ・ Windows Update に接続するかどうか選ぶ画面が表示されることがあります。「いいえ、今回は接続しません」を選んで [次へ] をクリックしてください。

13 「ソフトウェアを自動的にインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

USB-MIDI ドライバーのインストールが始まります。

NOTE

- ・ インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示された場合は、「続行」をクリックします。インストールを中止する必要はありません。

14 インストールが終わると、インストールが終了した旨の画面が表示されますので、[完了] をクリックします。

以上で必要なソフトウェアのインストールは完了です。

アンインストール

TOOLS for CC121 をアンインストールするには、以下の 2 つのソフトウェアを個別に削除する必要があります。

- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Steinberg CC121 Extension

1 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外します。

2 管理者権限のあるアカウントで Windows にログオンします。

アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

3 [スタート] → ([設定] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]) を選択し、「プログラムの追加と削除」を表示します。

4 左上の「プログラムの変更と削除」をクリックして選び、右側のリストの中から「Yamaha USB-MIDI Driver」 / 「Steinberg CC121 Extension」を選択します。

5 アンインストールを実行するには [変更と削除] / [削除] をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

■ Windows Vista/Windows 7 の場合

インストール前の準備

- 1 CC121 の [STANDBY/ON] スイッチが STANDBYの状態 (■) であることを確認します。**
- 2 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外し、CC121 をコンピューターの USB 端子にハブを使わずに直接つなぎます。**
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。**
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 4 TOOLS for CC121 CD-ROMを CD-ROM ドライブに挿入します。**

インストール

インストーラーを起動し、以下の 2つのソフトウェアをインストールします。

- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Steinberg CC121 Extension

NOTE

- ・ インストールの中止には、必ずキャンセルボタンやクローズボタンを使用してください。[Ctrl]+[Alt]+[Delete] を使用して中止したり、インストールの途中で電源をオフにしたりすると、アンインストールが正常にできなくなる原因となります。

- 5 CD-ROM 内の「setup.exe」をダブルクリックします。**

「TOOLS for CC121 セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

NOTE

- ・ 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

- 6 [次へ] をクリックします。**

- 7 USB-MIDI ドライバー、Steinberg CC121 Extension の順にセットアップ画面が表示されるので、画面の指示に従って各ソフトウェアをインストールします。**

NOTE

- ・ インストールされる Steinberg CC121 Extension と同じバージョンまたは新しいバージョンのソフトウェアが、すでにお使いのコンピューターにインストールされている場合は、Steinberg CC121 Extension のインストールに関する画面は表示されません。
- ・ インストール中に「Windows セキュリティ」画面が表示された場合は、発行元が「YAMAHA CORPORATION」であることを確認して、[インストール] をクリックします。インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。[完了] をクリックします。

- 8 TOOLS for CC121 のインストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。**

コンピューターの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージも表示されます。その場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の左側のラジオボタンにチェックが入っていることを確認し、[完了] をクリックしてコンピューターを再起動します。

再起動を促すメッセージが表示されていない場合は、[完了] をクリックします。

- 9 [STANDBY/ON] スイッチを押して、CC121 の電源をオンにします。**

USB-MIDI ドライバーが自動的にインストールされます。

以上で必要なソフトウェアのインストールは完了です。

アンインストール

TOOLS for CC121 をアンインストールするには、以下の 2つのソフトウェアを個別に削除する必要があります。

- ・ USB-MIDI ドライバー
- ・ Steinberg CC121 Extension

- 1 コンピューターから、マウスとキーボード以外の USB 機器をすべて外します。**

- 2 管理者権限のあるアカウントで Windows にログオンします。**
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

- 3 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。**

- 4 「Yamaha USB-MIDI Driver」 / 「Steinberg CC121 Extension」を選択します。**

- 5 [アンインストール]/[アンインストールと変更]をクリックします。**
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE

- ・ 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

■ Mac の場合

インストール前の準備

- 1 CC121の[STANDBY/ON]スイッチがSTANDBYの状態(▲)であることを確認します。**
- 2 コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外し、CC121をコンピューターのUSB端子にハブを使わず直接つなぎます。**
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。**
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 4 TOOLS for CC121 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

インストール

- 5 CD-ROM内の「TOOLS for CC121.mpkg」をダブルクリックします。**
「ようこそTOOLS for CC121インストーラへ」という画面が表示されます。

NOTE ⓘ

- ・「このパッケージは、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムを実行します。」というダイアログが表示されたら、[続ける]をクリックしてください。

- 6 画面の指示に従ってインストールを実行します。**

NOTE ⓘ

- ・インストール先の選択では起動ディスクのみが選択可能です。

- 7 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。「閉じる」をクリックします。**

以上で必要なソフトウェアのインストールは完了です。

アンインストール

以下のファイルを起動ディスク(通常はMacintosh HD)から削除して、TOOLS for CC121 (USB-MIDI ドライバーと Steinberg CC121 Extension) をアンインストールしてください。

NOTE ⓘ

- ・Finderに下記のフォルダーが表示されない場合は、Finderの[移動]メニューから[フォルダへ移動...]を選択し、フォルダーの場所(カッコ内のもの)を入力して[移動]を押してください。

USB-MIDI ドライバーの削除

/ユーザ /「ユーザー名」/ライブラリ/Preferences/(/Users/「ユーザー名」/Library/Preferences/)
jp.co.yamaha.USBMIDIDriver.plist
(ドライバーロード後に作成されます)

/ライブラリ/Audio/MIDI Drivers/(/Library/Audio/MIDI Drivers/)
YAMAHA-USBMIDIDriver.plugin

/ライブラリ/PreferencePanes/(/Library/PreferencePanes/)
YAMAHA-USBMIDIPatch.prefPane
/ライブラリ/Receipts/(/Library/Receipts/)
YAMAHA-USBMIDIDriver.pkg
YAMAHA-USBMIDIPatch.pkg

NOTE ⓘ

- ・「ユーザー名」とは、お使いのアカウント名です。
- ・ドライバーを削除することができるるのは管理者だけです。
通常のユーザーには削除する権限がありません。

Steinberg CC121 Extension の削除

/ライブラリ/Application Support/Steinberg/Components(/Library/Application Support/Steinberg/Components)
cc121_extension_u.bundle
/ライブラリ/Receipts/(/Library/Receipts/)
Steinberg CC121 Extension.pkg

セットアップ

TOOLS for CC121 のインストール(10 ページ)が行なわれていれば、いつでも CC121 を使用できます。使用する際には、次の手順で CC121 を Cubase に認識させてください。

1 すでに Cubase が起動している場合は終了させます。

Cubase に CC121 を認識させるには、CC121 とコンピューターを接続し、先に CC121 の電源をオンにしてから Cubase を起動する必要があります。

2 「電源の準備」(8 ページ)に従って CC121 の電源を入れる準備を行なってから、CC121 の [STANDBY/ON] スイッチを ON(■) にします。

NOTE 

- USB ケーブルは、ソフトウェアのインストール時と同じ USB 端子にケーブルを差し込んでください。別の USB 端子に接続した場合は、CC121 の電源をオンにしたときに、もう一度 USB-MIDI ドライバーのインストールが行なわれます。

3 Cubase を起動します。

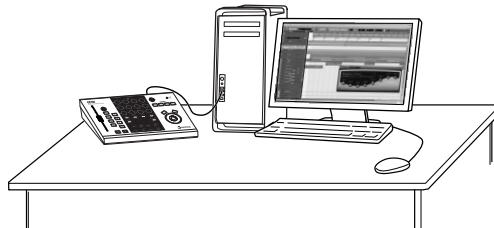
CC121 が Cubase 上で認識され、連携機能が利用可能な状態になると、フロントパネルの Cubase LED が点灯します。

NOTE 

- 電源アダプターの本体への接続および接続の解除は、本体の電源をオンにしてから行なっても問題ありません。

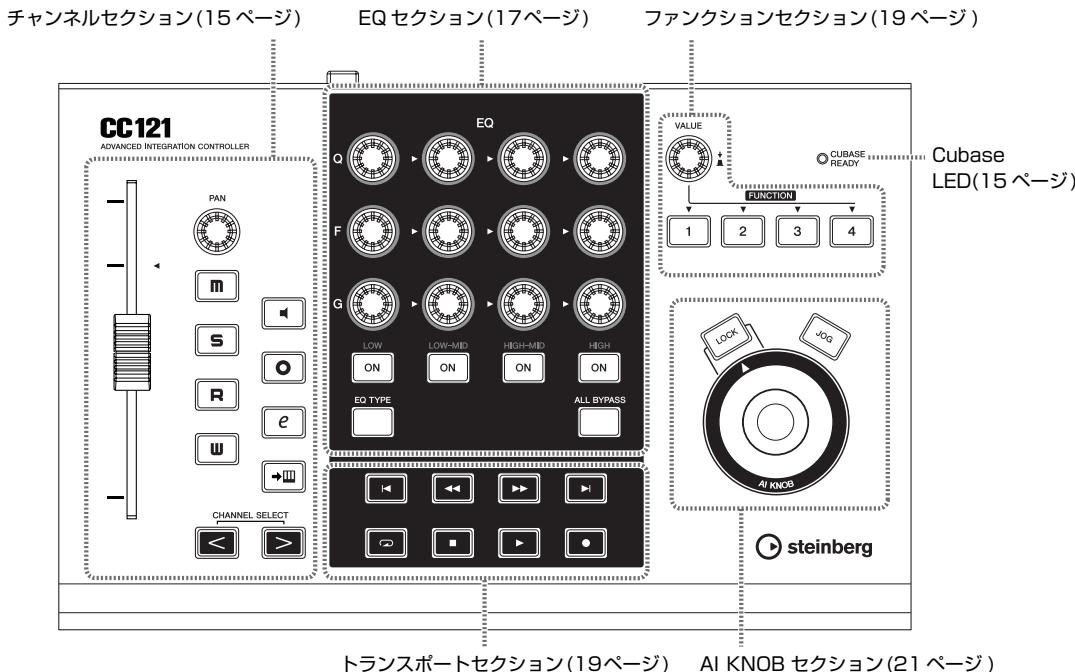
△ 注意

- 本体と接続しているコンピューターの電源を切った場合、本体の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY(■) してください。



各部の名称と機能

フロントパネル



■ Cubase LED

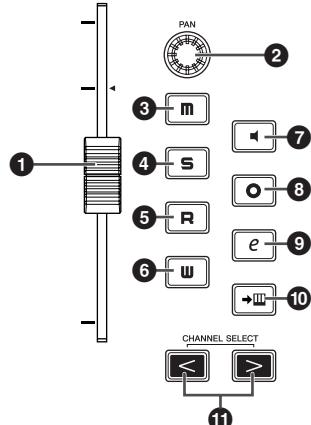
◎ CUBASE
READY

CC121 の起動状態や Cubase との通信状態を表す LED です。CC121 とコンピューターを USB ケーブルで接続し、USB バスパワー電源で CC121 が動作していると、LED が点滅します。また CC121 との連携機能に対応した Cubase と通信可能な状態になると LED が点灯します。

重要

CC121 との連携機能を実現できる Cubase は、 Cubase や Cubase AI などのバージョン 5 以降になります。詳しくは、下記 URL をご覧ください。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j

■ チャンネルセクション



Cubase 上で選択したトラックの各種操作を行ないます。オートメーションの書き込み時には、このセクションで行なった操作をそのまま記録できます。

① フェーダー

Cubase のミキサーのフェーダーを操作する、タッチセンス付き 100mm モーターフェーダーです。操作対象となるトラックが切り替わると、切り替え先トラックの設定に合わせてフェーダー位置が自動調節されます。

NOTE

- モーターフェーダー機能は、電源アダプターを接続しているときにのみ利用できます。
- フェーダーのタッチセンス感度を調整できます。詳しい設定方法は「フェーダーのタッチセンス感度を調整する」(23ページ)をご覧ください。

② [PAN] ノブ

PAN パラメーターを操作します。

③ [M] (ミュート) ボタン

ミュートのオン / オフを切り替えます。

④ [S] (ソロ) ボタン

ソロのオン / オフを切り替えます。

⑤ [R] (オートメーション読み込み) ボタン

オートメーションの読み込み機能をオン / オフに切り替えます。

⑥ [W] (オートメーション書き込み) ボタン

オートメーションの書き込み機能をオン / オフに切り替えます。

⑦ [■] (モニタリング) ボタン

モニタリングのオン / オフを切り替えます。

⑧ [○] (録音可能) ボタン

録音を可能 (オン) にするか不可能 (オフ) にするかを切り替えます。

⑨ [e] (チャンネル設定) ボタン

選択しているチャンネルの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

⑩ [→↔] (インストゥルメント編集) ボタン

選択中のトラックにおいて、VST インストゥルメントの設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。

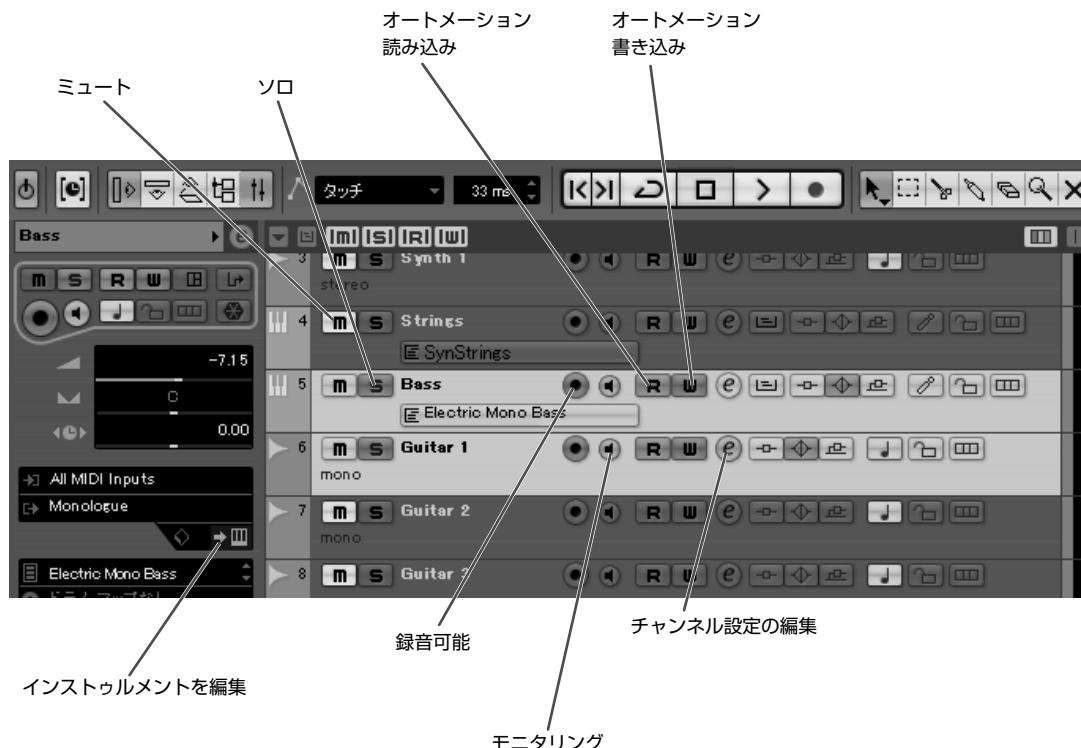
⑪ CHANNEL SELECT[<][>] ボタン

操作対象となるトラックを選択します。[<] または [>] ボタンを押し続けると、選択中のトラックを連続で切り替えることができます。

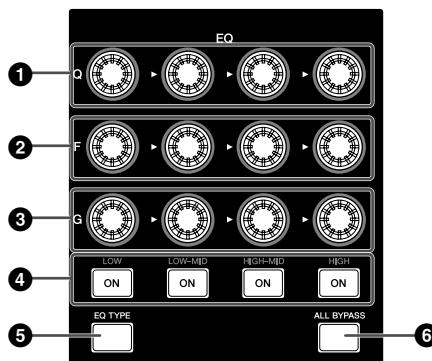
フォルダトラックを選択している状態で [<] と [>] ボタンを同時に押すと、フォルダトラックを開閉できます。

オーディオトラックやインストゥルメントトラックなどを選択している状態で [<] と [>] ボタンを同時に押すと、各トラックのオートメーショントラックを開閉できます。

任意のトラックを選択している状態で [<] と [>] ボタンを同時に 0.5 秒以上押し続けると、開いているすべてのフォルダトラックを閉じます。



■ EQ セクション

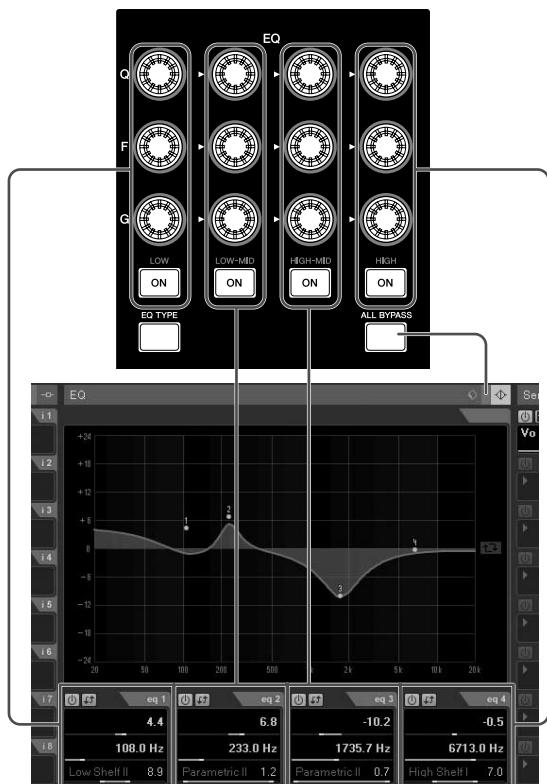


EQ セクションはモードによって動作が異なります。モードは、「通常モード」、「EQ TYPE 変更モード」、「Quick Control 操作モード」の 3 つです。各モードの動作は、次の表をご参照ください。

通常モード

オーディオトラックやインストゥルメントトラックなどに搭載される、4 バンド EQ を操作します。

① [Q] ノブ
各 EQ バンドの Q を調整します。
② [F] (フリケンシー) ノブ
各 EQ バンドの中心周波数を調整します。
③ [G] (ゲイン) ノブ
各 EQ バンドのゲインを調整します。
④ [ON] ボタン
各 EQ バンドのオン / オフを切り替えます。
⑤ [EQ TYPE] ボタン
EQ バンドのタイプを変更する「EQ TYPE 変更モード」に切り替えます。詳細は「EQ TYPE 変更モード」をご参照ください。
⑥ [ALL BYPASS] ボタン
EQ のバイパスオン / オフを切り替えます。



EQ TYPE 変更モード

EQ バンドのタイプを変更します。通常モードの状態で [EQ TYPE] ボタンを押すと、EQ TYPE 変更モードに入ります。EQ TYPE 変更モードに入っている間は [EQ TYPE] ボタンが点灯します。通常モードに戻るには、[EQ TYPE] ボタンを押します。

❶ [Q] ノブ

各 EQ バンドのタイプを変更します。

❷ [F] (フリケンシー) ノブ

[Q] ノブと同じ。

❸ [G] (ゲイン) ノブ

[Q] ノブと同じ。

❹ [ON] ボタン

各 EQ バンドのオン / オフを切り替えます。

❺ [EQ TYPE] ボタン

通常モードに戻ります。

❻ [ALL BYPASS] ボタン

EQ のバイパスオン / オフを切り替えます。

EQ ゲインの上下反転：

[ON] ボタンを使って、Cubase にある EQ の各バンド、または全体のバンドのゲインカーブを上下に反転できます。

操作方法は次のとおりです。

NOTE ⓘ

- この機能は、「通常モード」と「EQ TYPE 変更モード」のときに使用できます。

各バンドを反転する

[EQ TYPE] ボタンを押しながら、反転させたいバンドの [ON] ボタンを押します。

全体のバンドを反転する

[ALL BYPASS] ボタンを押しながら、いずれかの [ON] ボタンを押します。どの [ON] ボタンでも同じ動作です。

Quick Control 操作モード

オーディオトラックやインストゥルメントトラックの Quick Control を操作します。通常モードの状態で [EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、Quick Control 操作モードに入ります。Quick Control 操作モードに入っている間は、[EQ TYPE] ボタンまたは [ALL BYPASS] ボタンが点滅します。通常モードに戻るには、[EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押します。

❶ [Q] ノブ

Quick Control の 1 ~ 4 を操作します。

❷ [F] (フリケンシー) ノブ

Quick Control の 5 ~ 8 を操作します。

❸ [G] (ゲイン) ノブ

[EQ TYPE] ボタンが点滅しているときは、センド 1 ~ 4 のセンドレベルを調整します。

[ALL BYPASS] ボタンが点滅しているときは、センド 5 ~ 8 のセンドレベルを調整します。

❹ [ON] ボタン

[EQ TYPE] ボタンが点滅しているときは、センド 1 ~ 4 のオン / オフを切り替えます。

[ALL BYPASS] ボタンが点滅しているときは、センド 5 ~ 8 のオン / オフを切り替えます。

❺ [EQ TYPE] ボタン

[G] (ゲイン) ノブと [ON] ボタンで、センド 1 ~ 4 を操作できる状態に切り替えます。このとき、[EQ TYPE] ボタンが点滅します。

[EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、通常モードに戻ります。

❻ [ALL BYPASS] ボタン

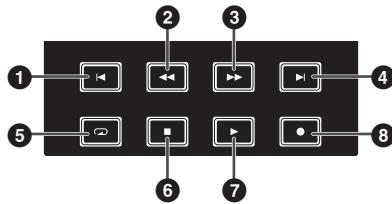
[G] (ゲイン) ノブと [ON] ボタンで、センド 5 ~ 8 を操作できる状態に切り替えます。このとき、[ALL BYPASS] ボタンが点滅します。

[EQ TYPE] ボタンと [ALL BYPASS] ボタンを同時に押すと、通常モードに戻ります。

NOTE ⓘ

- Cubase AI には、Quick Control 機能は搭載されておりません。

■ トランスポートセクション



Cubase のトランスポート操作を行ないます。

① [◀] (プリビアス) ボタン

現在位置の一つ手前のマーカー位置 (マーカーがないときはプロジェクトの先頭) に移動します。

② [◀◀] (リワインド) ボタン

巻き戻しを行ないます。

③ [▶▶] (フォワード) ボタン

早送りを行ないます。

④ [▶] (ネクスト) ボタン

現在位置の次のマーカー位置に移動します。

⑤ [⌚] (サイクル) ボタン

サイクルモードのオン / オフを切り替えます。

⑥ [■] (停止) ボタン

再生中のプロジェクトを停止します。

⑦ [▶] (再生) ボタン

プロジェクトを再生します。

⑧ [●] (録音) ボタン

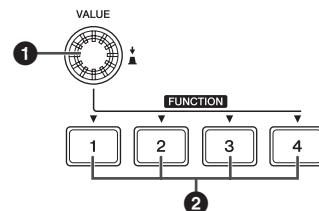
録音可能ボタンがオンになっているトラックの録音を行ないます。

NOTE

- リアパネルの FOOT SW 端子にフットスイッチ (ヤマハの FC5 など) を接続すると、トランスポートパネルなどの任意のパラメーターを割り当てて操作できます。フットスイッチにパラメーターを割り当てる方法については、「User Assignable :」(20 ページ) をご覧ください。
- フットスイッチの接続は、Cubase を起動していない状態で行なってください。



■ ファンクションセクション



Cubase のコントロールルームミキサーを操作したり、Cubase の任意のパラメーターを割り当てて操作したりできます。

ファンクションセクションのボタンやノブには、これらを操作するための 3 つの機能 (Bank 機能) があります。Bank 機能を切り替えて、操作を変更します。

① [VALUE] ノブ

プッシュ式のエンコーダーノブです。

レベルを調節したり、オン / オフを切り替えたりします。詳細は、「Bank 機能について」をご覧ください。

CC121 設定画面が表示されているときは、このノブを押すことで Bank 機能を選択できます。詳細は、「Bank 機能の切り替え」をご覧ください。

② FUNCTION [1] ~ [4] ボタン

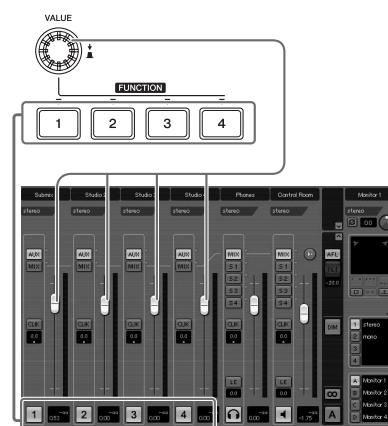
[VALUE] ノブで操作するパラメーターを選択します。どのボタンが選択されているかは、ボタンの点灯 / 消灯で確認できます。

Bank 機能について

Studio Control :

コントロールルームミキサーのスタジオレベルを調節します。

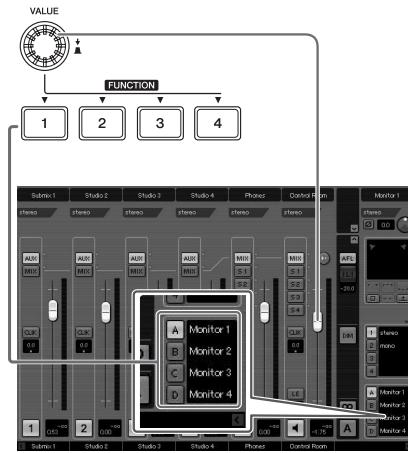
FUNCTION [1] ~ [4] ボタンで操作対象となるスタジオを選択し、[VALUE] ノブでスタジオの出力レベルを調節します。[VALUE] ノブを押すと、スタジオのオン / オフの切り替えができます。



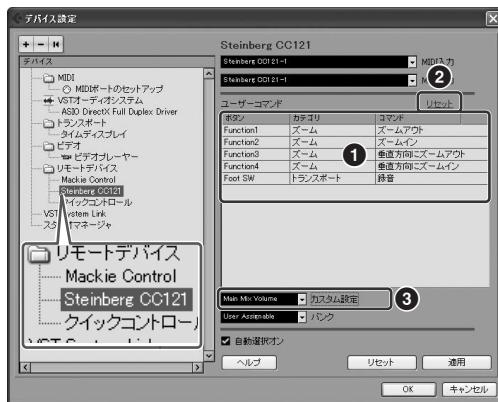
Monitor Control:

コントロールルームミキサーのモニターレベルを調節します。

FUNCTION [1] ~ [4] ボタンでレベルを調節するモニターセットを選択し、[VALUE] ノブでシグナルレベル（モニター出力レベル）を調節します。[VALUE] ノブを押すと、コントロールルームの出力オン / オフの切り替えができます。

**User Assignable :**

[VALUE] ノブや FUNCTION [1] ~ [4] ボタン、FOOT SW 端子（22 ページ）に接続されているフットスイッチに、Cubase の任意の機能を割り当てて操作します。機能の割り当ては、デバイス設定画面（「デバイス」→「デバイス設定」）で行ないます。デバイス設定画面左側の「デバイス」欄で「リモートデバイス」→「Steinberg CC121」を選択し、表示される ① と ③（下記参照）を設定します。

**① ユーザーコマンド**

FUNCTION [1] ~ [4] ボタン（「Function1」～「Function4」）と FOOT SW 端子に接続されているフットスイッチ（「Foot SW」）に割り当てる機能を「カテゴリ」および「コマンド」欄から選択します。

② リセット

ユーザーコマンド（①）の設定をすべて初期設定に戻します。

③ カスタム設定

[VALUE] ノブの機能を割り当てます。下記の 4 種類の設定ができます。

Metronome Level:	[VALUE] ノブを回すと、メトロノーム音の出力レベルを調整できます。[VALUE] ノブを押すと、メトロノーム機能のオン / オフを切り替えます。
Main Mix Volume:	[VALUE] ノブを回すと、メインアウトの出力レベルを調整できます。[VALUE] ノブを押すと、メインアウトのミュートのオン / オフを切り替えます。
CR Volume:	[VALUE] ノブを回すと、コントロールルームミキサーの Monitor の出力レベルを調整できます。[VALUE] ノブを押すと、モニター出力の有効 / 無効を切り替えます。この設定値は、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase でのみ利用できます。
CR Phones:	[VALUE] ノブを回すと、コントロールルームミキサーの Phones の出力レベルを調整できます。[VALUE] ノブを押すと、Phones の出力の有効 / 無効を切り替えます。この設定値は、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase でのみ利用できます。

NOTE

- コントロールルーム機能を搭載しない Cubase AI をお使いの場合は、User Assignable のみ利用できます。

Bank 機能の切り替え

[VALUE] ノブを使って、Bank 機能の切り替えができます。操作方法は次のとおりです。

1 [JOG] ボタンを押し続けて、CC121 設定画面を開きます。

画面が開いたら [JOG] ボタンを離します。

CC121 設定画面**2 [VALUE] ノブを押して、Bank を選択します。**

Bank 機能

3 もう一度 [VALUE] ノブを押して、Bank 機能を切り替えます。

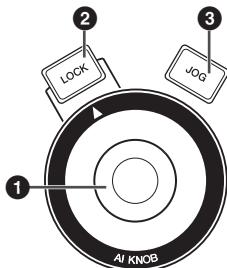
4 [JOG] ボタンを押し続けて、CC121 の設定画面を開じます。

画面が閉じたら [JOG] ボタンを離します。

NOTE

- Bank 機能の切り替えは、デバイス設定画面 ([デバイス] → [デバイス設定]) でも可能です。デバイス設定画面左側の「デバイス」欄で「リモートデバイス」→「Steinberg CC121」を選択し、画面内の「パンク」から選びます。

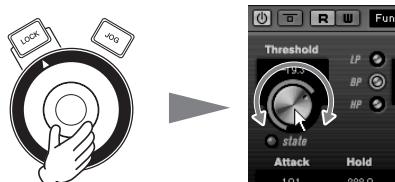
■ AI KNOB セクション



Cubase の任意のパラメーター操作、プロジェクトの現在位置の移動などを行ないます。

① AI KNOB

Cubase の主要な画面およびプラグインソフトウェアの任意のパラメーターをコントロールしたり、ジョグシャトルとして使用したりできる、マルチファンクションノブです。[LOCK] ボタンや [JOG] ボタンのオン / オフ状態に応じて、操作可能なパラメーターが変化します。[LOCK] ボタンおよび [JOG] ボタンがオフのときは、Cubase 上でマウスポインターを合わせたパラメーターを調節できます。



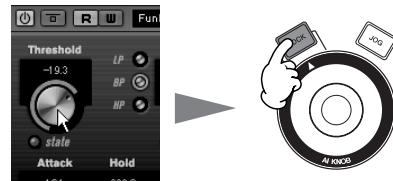
マウスポインターを合わせたパラメーターを調節

NOTE

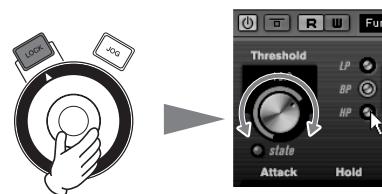
- AI KNOB で操作可能なパラメーターは、Cubase の主要な画面およびプラグインソフトウェアの、オートメーション可能なパラメーターです。プラグインソフトウェアに関しては、Cubase に標準搭載されている VST3 プラグインが対応しています（2011 年 11 月現在）。対応するプラグインソフトウェアに関しての最新情報は、下記 URL をご覧ください。
- http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_cc121_j

② [LOCK] ボタン

AI KNOB で操作するパラメーターを固定します。Cubase の操作したいパラメーターにマウスポインターを合わせてボタンをオンにすると、以降はマウスポインター位置にかかわらず、ロックしたパラメーターを操作できます。ボタンをオフにすれば、すぐにロックを解除して、ほかのパラメーターを操作できます。



パラメーターをロック



マウスポインターの位置にかかわらずパラメーターを調節

③ [JOG] ボタン

AI KNOB で操作する機能のオン / オフを切り替えます。機能は Jog、Shuttle、Scrub から選べます。ボタンを押し続けると、CC121 設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。CC121 設定画面が表示されたあと、もう一度押すと、機能の設定（Jog Mode 設定）を切り替えることができます。

CC121 設定画面

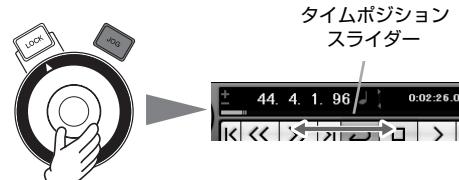


Jog Mode 設定

Jog Mode 設定の種類と機能は、以下のとおりです。

Jog :

Cubase の「タイムポジションスライダー」を操作します。この設定を選択してから [LOCK] ボタンをオンにすると、ノブを回したあとノブから手を離しても、現在位置の移動が継続します。現在位置は、タイムポジションスライダーに表示されます。



タイムポジション
スライダー

Shuttle :

Cubase の「シャトルスピード」を操作します。操作中は、オーディオが再生されます。

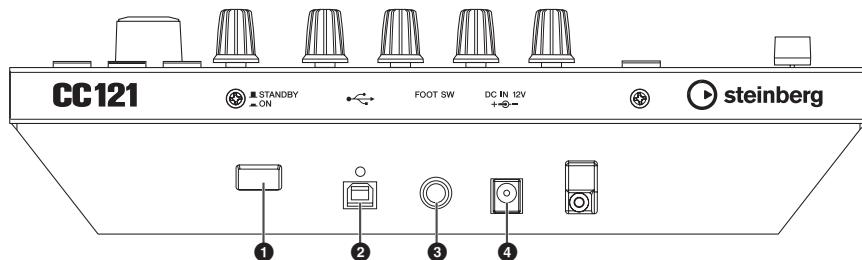
Scrub :

Cubase の「ジョグホイール」を操作します。操作中は、オーディオが再生されます。

右側のプルダウンメニューでは、ジョグホイールの速度を変更できます。数字が大きくなるほど速くなります。



リアパネル



① [STANDBY/ON] スイッチ

電源のオン / オフ (スタンバイ) を切り替えます (9 ページ)。

② USB TO HOST 端子

USB ケーブルを使ってコンピューターと CC121 を接続します。

③ FOOT SW 端子

別売のフットスイッチ (ヤマハの FC5 など) を接続します。フットスイッチを接続すれば、トランスポート操作など、Cubase の任意のパラメーターを割り当てて操作できます。

フットスイッチにパラメーターを割り当てる方法については、「User Assignable :」(20 ページ) をご覧ください。

NOTE

- フットスイッチの接続は、Cubase を起動していない状態で行ってください。

④ DC IN 端子

付属の電源アダプターを接続します。

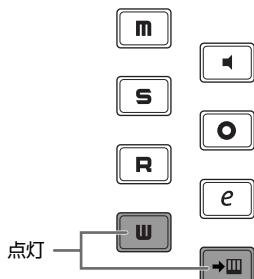
NOTE

- CC121 のモーターフェーダー機能を利用する場合は、電源アダプターによる電源供給が必要です。

フェーダーのタッチセンス感度を調整する

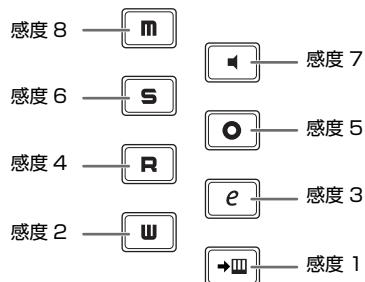
CC121 は、フェーダーのタッチセンスの感度を 8 段階(1 ~ 8)で調整できます。

- 1 CC121 の [STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (■) にし、コンピューターと CC121 の USB TO HOST 端子を USB ケーブルで接続します。**
- 2 コンピューターを起動します。**
- 3 CC121 の CHANNEL SELECT [<>] ボタンと CHANNEL SELECT [<] ボタンを押しながら [STANDBY/ON] スイッチを ON (=) にします。**
CHANNEL SELECT [<>] と [<] ボタンは押し続けます。
CC121 のすべての LED が一瞬点灯したあと、いくつかの LED が点灯します(CC121 の本体ファームウェアのバージョンを示すものです)。
- 4 いくつかの LED が点灯したら、CHANNEL SELECT [<>] と [<] ボタンを離します。**
本体の Cubase LED が点滅し、現在設定されているタッチセンスの感度の値が、チャンネルセクションの [m] (ミュート) ボタン～[→■] (インストゥルメント編集) ボタンの 8 つのボタンの点灯状態で表されます。たとえば、感度が 2 に設定されていると、下側にある [w] (オートメーション書き込み) ボタンと [→■] (インストゥルメント編集) ボタンの 2 つのボタンが点灯します。



- 5 [m] (ミュート) ボタン～[→■] (インストゥルメント編集) ボタンの 8 つのボタンのうち、設定したい感度に該当するボタンを押します。**
感度 1 が最も鈍く、感度 8 が最も敏感な設定になります。各ボタンが対応する感度の値については、下記表をご覧ください。

感度	ボタン
8	[m] (ミュート) ボタン
7	[■] (モニタリング) ボタン
6	[s] (ソロ) ボタン
5	[○] (録音可能) ボタン
4	[R] (オートメーション読み込み) ボタン
3	[e] (チャンネル設定) ボタン
2	[W] (オートメーション書き込み) ボタン
1	[→■] (インストゥルメント編集) ボタン



ボタンを押した時点で本体の内部メモリーにその感度の値が保存され、該当するボタンが点灯します。

- 6 本体のフェーダーに触れ、感知したことを表すランプポートセクションの [○] (録音) ボタンの点灯状況を確認します。**
- 7 手順 4～5 を繰り返し、適切な感度に調整します。**
- 8 感度の設定が終わったら、[STANDBY/ON] スイッチを STANDBY (■) にします。**

これで、感度の調整は終わりです。

トラブルシューティング

● 電源が入らない

- コンピューターと CC121 が USB ケーブルで正しく接続されていますか？本体の電源をオンにするには USB バスパワーの電源供給が必要です。電源アダプターはモーターフェーダー駆動用の補助電源です。
- 正常な USB ケーブルを使っていますか？USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。また 1.5m 以下の USB ケーブルをお使いください。
- コンピューターと CC121 を、バスパワータイプの USB ハブ経由で接続していませんか？USB ハブを経由しなければいけない場合は、セルフパワータイプの USB ハブを使って接続してください。

● Cubase 上で CC121 が認識されない / Cubase をリモートコントロールできない

- コンピューターと CC121 が USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- 正常な USB ケーブルを使っていますか？USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。また、1.5m 以下の USB ケーブルをお使いください。
- Cubase 起動前に CC121 の電源をオンにしましたか？
- USB-MIDI ドライバーおよび Steinberg CC121 Extension はインストールされていますか？

- (Windows XP の場合のみ) USB-MIDI ドライバーの「Use Device Name As Port Name」のチェックがはずれていませんか？「スタート」→「コントロールパネル」→「Yamaha USB-MIDI Driver」で開く MIDI パッチ画面をご確認ください。
- Cubase 上のポート設定では、CC121 が選択されていますか？デバイス設定画面（[デバイス] → [デバイス設定]）の左側にある「デバイス」欄で、「リモートデバイス」の「Steinberg CC121」を選択し、「MIDI 入力」/「MIDI 出力」をご確認ください。
- Cubase のリモートコントロールの設定は正しいですか？Cubase の取扱説明書をご参照ください。

● CC121 のフェーダーを動かしても Cubase 上で認識されない

- フェーダーのタッチセンスの感度は適切ですか？「フェーダーのタッチセンス感度を調整する」(23 ページ) で説明している方法で、タッチセンスの感度を調整してみてください。

● モーターフェーダーが駆動しない

- 電源アダプターが正しく接続されていますか？モーターフェーダーを駆動させるには、USB バスパワーの電源供給だけでなく、電源アダプターを接続する必要があります。
- フェーダーのタッチセンスの感度は適切ですか？タッチセンスの感度が強すぎると、フェーダーに触れていても駆動を止めてしまう可能性があります。タッチセンス感度を調整してください(23 ページ)。

仕様

接続端子	USB TO HOST 端子、FOOT SW 端子、DC IN 端子
電源	<ul style="list-style-type: none"> USB バスパワー: 5V/500mA 電源アダプター(モーターフェーダー駆動用): PA-3C またはヤマハ推奨の同等品
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> USB バスパワー: 1.5W 電源アダプター(モーターフェーダー駆動用): 5W
最大外形寸法	284(W)x72(H)x185(D)
質量	1.5kg
付属品	電源アダプター(PA-3C またはヤマハ推奨の同等品)、USB ケーブル、CD-ROM (TOOLS for CC121)、DVD-ROM (Cubase AI)、保証書、オペレーションマニュアル(本書)

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

ユーザーサポートサービスについて

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

ユーザー登録手続きは、スタインバーグ・ホームページ内の「MySteinberg」で行ないます。初めて「MySteinberg」をご利用される場合は、アカウント作成が必要です。

スタインバーグ・ホームページ (MySteinberg)
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_j

- ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号 (SER No.) が必要になります。シリアル番号は、本体の底面に記載されています。
- ご登録いただいた個人情報につきましては、ご購入製品のサポート、ご購入製品や関連製品のご案内、及びご購入者分析に利用いたします。

住所 / 氏名 / メールアドレスの変更（同一使用者の範囲内）

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合も、『MySteinberg』でお手続きください。

質問の受付

スタインバーグ製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能な製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目はオペレーションマニュアルに解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまなお問い合わせがござります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではスタインバーグ相談窓口を開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「MySteinberg のユーザー名」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「製品のシリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

お客様コミュニケーションセンター

スタインバーグ・コンピューターミュージックご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

ヤマハ（株）お客様コミュニケーションセンター

スタインバーグ・コンピューターミュージックご相談窓口

ナビダイヤル
 (全国共通番号)  0570-016-808

市内通話料でOK
 ナビダイヤル® ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金をご利用いただけます。

(携帯電話、PHS、IP 電話からは 053-460-5270)

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00

土曜日 10:00～17:00

(祝日およびセンターの休業日を除く)

スタインバーグ製品の日本語ホームページ (WEB の質問受け付け窓口)

<http://japan.steinberg.net/>

* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。

* テクニカルサポートはサポート期間内の製品に限らせていただきます。

Cubase AI (付属ソフトウェア) については、スタインバーグ・ホームページの情報をご覧ください。製品に関するサポート情報や、最新のアップデータのダウンロード、FAQなどを公開しております。

Cubase AI の [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、Cubase AI の PDF マニュアルなども掲載されています。)

● ご購入に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

国内営業本部 EKB・LM 営業部 営業推進室

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL. 03-5488-5430

PA事業部マーケティング部 MPPマーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

スタインバーグ・ホームページ

<http://japan.steinberg.net/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/steinberg/>

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。

消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ修理ご相談センターへ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)  0570-012-808
市内通話料でOK
ナビダイヤル® ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金をご利用いただけます。

(携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830)

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00

土曜日 9:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 東日本（北海道／東北／関東／甲信越）

03-5762-2125

西日本（沖縄／九州／中国／四国／近畿／東海／北陸）

06-6465-0374

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45

(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内 14号棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

名古屋サービスセンター

〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11

ピアノ運送株式会社 名古屋営業所 1F

FAX 052-363-5903

大阪サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82

ユニバーサル・シティ和幸ビル 9F

FAX 06-6465-0374

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

Steinberg Web Site
<http://japan.steinberg.net/>

C.S.G., Pro Audio Division
© 2008-2011 Yamaha Corporation

[ZA68180] 111APDH?.?-01D0
Printed in Japan



このオペレーションマニュアルは無塩素紙(ECF:無塩素系漂白パルプ)を使用しています。

 **steinberg**